



# HANDBOOK

## 2022



2022年度 2部リーグ参加チーム

# 流通科学大学

桃山学院大学  
大阪経済大学  
大阪教育大学  
近畿大学  
龍谷大学  
大阪大学  
京都先端科学大学  
関西国際大学  
京都橘大学  
神戸大学  
大阪商業大学  
神戸学院大学



# 2022年度 悲願の1部昇格へ！

## ※近年の成績

2021年度 2部リーグ 4位

2020年度 2部Aリーグ 10位

(コロナ禍により昇降格なし)

2019年度 2部Aリーグ 5位

2018年度 2部Aリーグ 6位

2017年度 2部Aリーグ 10位

2016年度 2部Aリーグ 昇格

2015年度 2部Bリーグ 4位

2014年度 2部Bリーグ 昇格



# ライフスキル教育

心豊かに、自分らしく「生きる力」を身につけ、社会で貢献できるような人になってほしいと願っています。

人には個性があります。個性は周りとの関わりによって作り上げられる大切なものです。自分を大切にし、仲間の「自分」も尊重することで共感性が高まります。仲間の良さを引き出すには自己理解と他者理解がとても大切になります。

本学では、生きる力に最も近いとされるライフスキルをスポーツを通して獲得し、社会を生き抜く力を身につけていきます。それには、礼儀作法や挨拶など基礎となるスキルの部分を広げ、その上に自主性、主体性を身につけ、自立できるよう学生中心で取り組んでいけるよう努めます。

周りに感謝し、何かしてもらうことを待つのではなく、周りに何かを与えられるような人になってほしい願っています。



# ライフスキルとは

## 定義

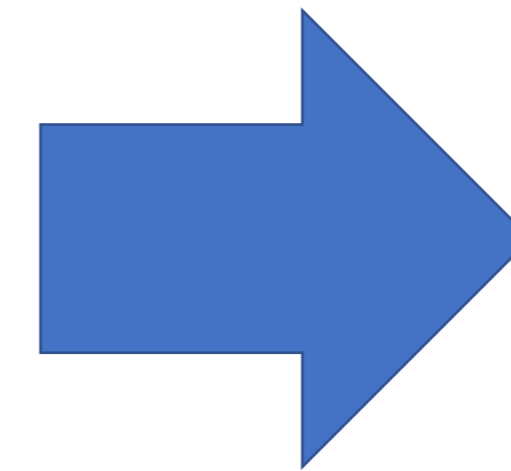
「日常生活で生じるさまざまな問題や要求に対して、  
建設的かつ効果的に対処するために必要な能力」

(WHO, 1997)

※主体的に「生きる力」を身につける活動に取り組みます。



# なぜライフスキルを学ぶ必要があるのか



昔は家族間・地域の間人同士の絆が強く、家庭や社会から多くを学ぶ環境にあった。

家庭や地域社会の教育力低下・グローバル社会における、日本社会の西洋化などによりライフスキルが学びにくい環境にある。



# 計画的なライフスキル教育

このような状況を踏まえライフスキルを

計画的に実行しなければならない必要性が高まっています。

また、ライフスキルが低いと絶対に勝てないことはありませんが、長い目で見た場合「必ず負ける」と言われています。

## 全体MT実施例

- ・生きる力
- ・フェアプレイの重要性
- ・スポーツパーソンシップを考える
- ・感謝する心を育てる
- ・考える力を身につける
- ・目標設定スキル 等

※特にスポーツ場面においては「フェアプレイやスポーツパーソンシップについて学ぶ機会を設ける重要性（榎本ほか，2020）」が指摘されている

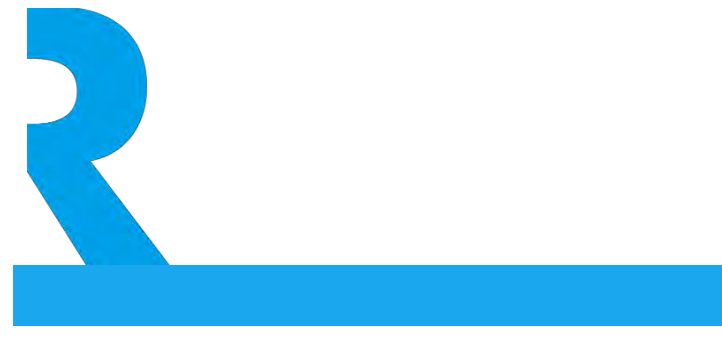


# 「生きる力」とは

Q. 「生きる力」の話を聞いて気づいたことは何ですか。

- ・ 失敗や困難を乗り越えていく力を大学になって身につけたい
- ・ 普通だということがどれだけすごいことだということが、特に今の現状も踏まえてわかった
- ・ 心が原動力になっていることがわかった
- ・ 心の本質である素直さや諦めない気持ちを大切に、心を込めて取り組みたい
- ・ 実際書き出してみると、できない事ばかりであることに気づいた
- ・ 自分で課題をもって行動していくこと。  
1日1日を大切に周りに感謝して頑張りたい
- ・ 今まで生きる力なんて考えたことなかった。  
他人と関わることで自分が作られていることがわかった





# 活動方針

『厳しく・激しく・楽しく』

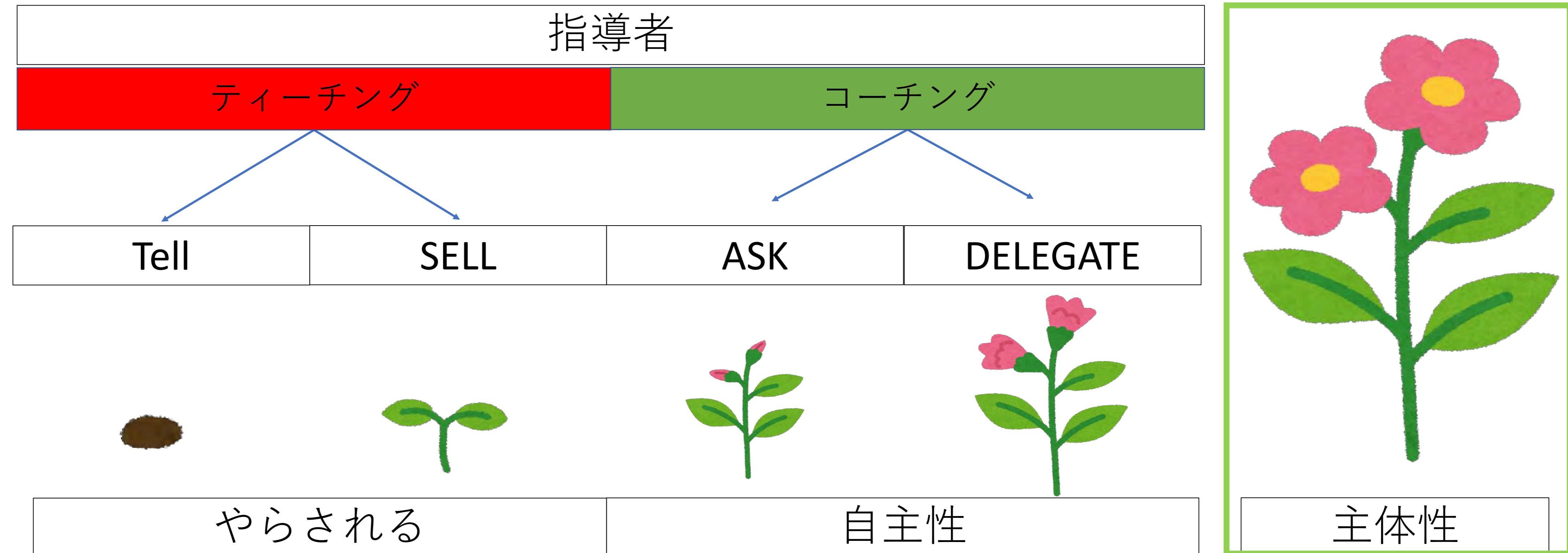
本学サッカー部では、サッカーを心から楽しみながら勝利を追求する活動を行います。「楽しむ」について、日本では笑顔を見せてプレイすると考えられています。欧米では主体的な活動や仲間と協力した充実感を味わうこととされています。私たちはフェアな精神を養い、素晴らしい相手と真剣勝負をする楽しさを求めます。また、勝つことだけに重きを置く勝利至上主義にあらず、勝利の追求をすることで、努力を惜しまず、創意工夫を行います。我々は活動方針に掲げている、厳しく・激しくトレーニングを行い、主体的行動し強い相手に勝利する楽しさを求めています。



# 指導方針

## 一 動機づけに着目して

私たちは学生が活躍できる場を数多く提供します。その活動は、グラウンドにとどまらず、社会の場で役立つ様々なプロジェクトに挑みます。そのためにも主体性を高めるべく、マイクロコーチングで種をまき花を咲かせられるような指導を心掛けます。





# F 1 G P 活動

ー 主体性を高めるため

**F**：フットボール

**1**：フットボール以外に1つ発表

**G**：がんばり

**P**：パーソナリティの向上

サッカーだけでなく、何か1つ教育面での発表をすること。学生生活で何に興味を持ち、挑んだかがこの先の人生においても大切となる。また、F1の頑張りこそが人格形成につながってくるのである。



## 2022スローガン

# 『アン美シヤス フットボール』 ～夢を形に 思いを行動に～

一部昇格に向け野心を持ってプレイします。

そして美しいフットボールを展開します。

美しさとは日々の向上心と毎日の粘り強い精神によって成り立ちます。

毎日の継続とわくわくする目標をかかげ日々活動します。



# なぜスポーツで美を追求するのか

スポーツ活動の向上プロセス

生存のための  
自己活動

他者と比べる  
活動

自分自身の  
美しさを昇華

美的探究

(Kretchmar,R.S.1994)



# 部員心得 I

## 『己に克ち 礼に復る』

自分の欲望に打ちかって人間として守るべき  
正しい道に従って行動すること。

### ◆集合時間

- ・余裕をもって行動すること。ギリギリに来ることのないように。  
これは道具や水の準備もすべて終わってさらに余裕を持てる時間帯を指す。

### ◆服装・身なり

- ・全員チーム指定のウェアでトレーニングすること。
- ・学生らしい身なりで行動すること（茶髪・ピアス・ひげをのばすなどはしない）。

### ◆欠席・遅刻・早退・休部

- ・遅刻・欠席の連絡の徹底（社会で通用しない・言語道断）
- ・休部制度は設けない。（特別な事情により再入部する際は入部金が発生する。）

### ◆学業

- ・4年間での卒業は最低目標である。前期・後期最低各**16**単位以上をとること。  
期で**16**単位未満の場合は次の半期間の活動停止とする。また、**16**単位以上でも各セメスターを下回っている場合は、上回るまで活動停止とする。1年生は前期のみ**20**単位以上を活動条件とする。学生生活において何を優先しなければならないのかをしっかりと考えること。そして、卒業後何をするのか、社会に出て自分がこれからどう生きていくのか将来のビジョンを自分で探していかなければならない。そのために周りのアドバイスや知識を活用し学問を吸収していくことが大切である。

### ◆その他

- ・サッカーだけやっていたら良いという安易な考えでは、当然学生は務まらない。学業でも常に上をめざして取り組むことが大切である。これもサッカー同様最善の努力を行うことにつながる。頑張りは評価する。何事にも努力しない人は成長しない。一生懸命全力を尽くさない者にチャンスは巡ってこない。



# 部員心得 II

『己に克ち 礼に復る』

自分の欲望に打ちかって人間として守るべき  
正しい道に従って行動すること。

## ◆役員構成

部の運営に下記の役員を置く

主将

副主将

主務 若干名（学連・リスペクト担当等含む）

副務 若干名

その他 各係りを担当する。※組織図参照

## ◆チームの約束事

茶髪・パーマ・髭・ピアス等身だしなみだけでなく、公序良俗に反する行為等。

S N S 等への部やその他の誹謗中傷、秘密漏洩。

喫煙、その他規律を乱す行為。

幹部会議での決定事項を守らない事。

※著しく部の名誉を傷つけたり、部の規則や方針を何度も乱した場合は除名する。

## ◆その他

関西学生サッカー連盟の主催する行事（観客動員）は必ず出席すること。これは、本学サッカー部に所属する = 出席の義務があるということを理解すること。

また、学内の行事ごとやサッカー部として学園が良くなるために率先して行動を起こせるよう努めること。

※詳細は部則を優先とする

# R協賛一覧 (順不同)

